

サツマイモ基腐病対策のポイント⑤

農産園芸課サツマイモ基腐病対策班

基腐病に打ち克つために

「持ち込まない」対策の徹底 —基腐病対策は健全苗の確保から—

1 種いも伏せ込み育苗(種いもを用いた育苗)

—その種いもは健全ですか—

- ① 種いもは、病気の発生していない「種いも専用ほ場」から収穫。
- ② 収穫した種いものなり首を、切り口の直径が100円玉くらいになるよう切除。併せて、尾部も切除。



(1) 温度

- ・ 種いもの伏せ込み直後から萌芽までの床温は28～33℃
- ・ 萌芽後の気温は昼間25～30℃、夜間15℃

※ 苗床の低温は、種いも腐敗の原因となるので注意

(2) ポリマルチの除去

- ・ 種いもが萌芽し始めたら、日焼けを起こしやすいので、ポリマルチに穴をあけて芽を出し、萌芽揃い後は直ちに除去

(3) かん水

- ・ 床面が乾かない程度に、温暖な日の午前中にかん水

(4) 異常株の抜き取り

※栽培ほ場にどのような対策を講じても、**感染苗を持ち込んでしまえば、防除効果は現れません。**
健全な苗生産は、防除対策の基本！



種いもを覆土し、十分にかん水



ポリマルチをして地温確保、保水



1～2月の伏せ込みはハウス+トンネル

2 バイオ苗育苗(茎頂培養苗育苗)

(1) 温度

- ・ 気温は、昼間30℃、夜間20℃を目安に管理

(2) 定植とかん水

- ・ 挿し苗増殖用の苗は、下2節を育苗床に挿し定植
- ・ 床土が乾かないように、温暖な日の午前中にかん水

奨励品種の基腐病抵抗性程度

	弱	やや弱	中	やや強
青果用	べにはるか	高系14号 (ベニサツマ)	—	べにまさり
焼酎原料用	—	コガネセンガン	—	—
でん粉用	こなみずき ダイチノユメ	—	シロユタカ	こないしん

※ 基腐病に抵抗性のある「みちしずく」については、令和4年3月30日出願公表。現在、種いもを増殖中である。

※基腐病に弱い品種から強い品種に変更すると、発生の軽減が期待できる。

・収穫時に腐敗いもの割合が1割以上あった畑は、連作を避け、別の品目を植付けましょう。

ご不明な点がございましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム(事務局:地域振興局・支庁農政普及課)にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究進事業(01020C)」の成果を活用しました。